

第26回 理事会議事録

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

第26回理事会 議事録

- 1.開催日 2021年1月3日(日) 13:00~17:00
- 2.開催地/方法 事務局及びWEB会議(Zoomを用いた会議)
- 3.理事 19名中17名が出席し、定足数を満たした。(出席者全員WEB参加)
(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田(大里)真理子 楠見耕介
愛場庸雅 瀬川 出 宮川早穂 新帯 亮 山西哲郎 奥田健史 高橋利之
羽鳥和重 信原 靖 谷野文史 島津 弘
(欠席) 小林 力 茅野耕治
監事 尾上秀雄 齋藤和助(欠席)
記録 高村 卓
- 4.議長 定款第32条により、愛場副会長を指名した。

審議事項

第1号議案 規程・規則の改定等

① 倫理規程の改訂

愛場理事から現行倫理規程の改定を説明した。ガバナンスコートに対応した改定、対象者を明確、「処分」の項目を追加し、懲戒処分の基準を設けた。

2月1日から競技者登録が開始されるのを受け、施行したい。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

② 個人情報保護理念 ※住所、電話番号の変更。

③ 給与規程 ※号俸から給与と名称の変更。

④ 就業規定 ※職名を実態に合わせた。勤務時間等の修正。

⑤ 文書管理規程 ※施行日を確定。

事務局から、②から⑤について一括して説明した。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

⑥ 全日本大会選手権クラス出場資格規則の制定について

瀬川理事から、全日本大会の選手権クラスの出場資格について、日本ランキング(フォレスト)を設けることを説明した。

奥田理事から、日本ランキングにより資格は現在と同様の公認大会による資格やインカレによる資格と比べて基準が緩いと思われるが、現在より有資格者が増加する見込みか、との質問があり、瀬川理事から、参加者を増やすため現在の基準より間口を広げている、との回答があった。

事務局から、インターハイの特例をどう取り扱うかと質問があり、検討することになった。

平島理事から、競技者登録についても記載が必要という反対意見が出た。

以上、審議の結果、平島理事はこれに反対し、この理事を除く出席理事全員の賛成により承認可決した。

第2号議案 全日本実行委員会委員長交代及び委員変更

木村理事から、委員長の交代と、委員の退任・新任について説明した。

委員長が木村佳司氏から、宮川早穂氏に交代する。

高橋 厚氏、丸藤 純氏、中村 憲氏、の3名は退任する。

落合公也氏、石澤 俊崇氏、をメンバーに加える。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

第3号議案 2021年度振興基金及びくじ助成申請原案

事務局から、2021年度の助成金申請について説明した。振興基金選手強化 4,450,000-、

大会 2,200,000-、くじ指導者養成等 4,827,000-、競技会 2,000,000-を申請。

各申請の順番を確定した。修正がある場合は事務局で作成する。また、他の助成申請があれば調査してほしいとでた。

羽鳥理事から、全日本リレー大会はチャンピオンシップではないのでは、他の全日本大会と比べるとランクが落ちるのではと意見がでた。

以上、審議の結果、羽鳥理事がこれに対して棄権し、この理事を除く出席理事全員の賛成により承認可決した。

第4号議案 WMG2021 借入金返済延期依頼

平島理事から WMG2021 関西実行委員会が借用している借入金について、大会が新型コロナウイルス感染症のため、2022年度変更となったため、返済の延期を依頼することを説明した。

これについて、借用書の書き換えが提案された。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

第5号議案 2020年度全日本スプリント大会について

瀬川理事から、当初2020年12月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため延期していた本大会を、2月20日のパークアウトア-関西2020大阪大会(非公認)に選手権クラスを設けて開催すること。競技規則に定められている開催要項の発行期日が守られない事について、競技委員会からは理事会での決定に任せると回答された等を説明した。

大里理事から、次回以降このような状況になったときどうするのかと質問が出た、瀬川理事からは、複数の候補地を選定しておき対応する予定と回答があった。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

第6号議案 賛助会員制度について

大里理事から、定款に記載されている「賛助会員」制度について、有効に利用されていない事実を鑑み、復活をしたいと説明した。対象は競技の経験を持つが、現在は活動が少ない方々等。

以下のような意見が出た。

- ・毎年引き落としの寄付の方が良いのでは。
- ・賛助会費を公益会計にすれば寄付金控除可能。法人会計の場合は寄付金控除不可。

- ・OB 会は大学ごとに活動内容や年齢層に差があるため、一律な対応は難しいだろう。
- ・会費を集めるのに何に使うか、何が足りないのか等目的を明示し募集。
- ・学連の実情を、谷野理事から説明。コロナ禍のなか、毎年の賛助会費に上乘せを追加していただいた。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

※第6号議案審議後から、伊藤理事と高橋理事が退席した。

第7号議案 You Tube チャンネル作成について

瀬川理事から、全日本大会等の生配信や中継を行う。選手が発信する場を設ける。初心者に向けた解説動画を掲載する等の説明をした。

- ・アカウントを取って行った方が良い。有償になった場合は総務委員会予算でしたいと意見がでた。
- ・管理を総務委員会で行う。他の SNS アカウント管理も総務委員会で行うこととした。

以上、審議の結果、出席理事全員異議なく承認可決した。

以上

報告事項

1. 山西会長から、役員への注意についての報告がされた。理事会終了後、JOA-WEB に掲載する。
2. ガバナンスコードへの対応状況 自己評価の開示
事務局から、昨年 12 月に自己評価を提出。併せて JOA-WEB に掲載したことを報告した。
3. 持続化給付金等の申請をした。〔家賃補助 64 万円、持続化給付金 200 万円〕
大里理事から、コロナ禍の中で出された「家賃給付、持続化給付」を申請し、補助が入ったと報告。200 万円については会員に支援をすることを検討した。
新帯理事から、配分利用方法が提案されたが、他の意見が多くで、次回理事会までに検討することになった。
4. 各委員会・WG からの報告
 - ①WMG 実行委員会報告 平島理事から、2022 年に延期したことが報告された。
 - ②公認大会改革 WG 報告 平島理事から、組織、高品質の大会の提供、競技者をたたえる、運営者のモチベーションを高める方策について実行計画の提言があった。JOA 組織として「公認大会推進窓口」の設置、全日本委員会、スプリント委員会、テレーンコントロールを行う組織を統括する委員会の設置などの提案があった。また、高品質の大会の提供では、良いテレーンの確保、公認大会の審査、一つの大会の中でミドルとロングの混在、運営役員の資格(ディレクター 1 級、2 級有資格者からの変更) などについても提案された。
 - ③公認スポーツ指導員移行について 村越顧問から、ディレクター 1 級、2 級は数年後に廃止の方向。一部の人はコーチに移行する。移行しない方もいるので、公認大会運営責任者としての資格を検討すると報告された。

- ④オンラインセミナー報告 村越顧問から、無料と有料のセミナーを開催したと報告された。
- ⑤全日本大会進捗情報
開催日が決定した。
2021年10月23日(土)全日本ミドル
2021年10月24日(日)全日本ロング
開催地は長野県。2月理事会にて、地図発注の見積承認を得る予定。
信原理事から、全日本大会は全日本選手権大会と名称を使用することが決まっているのではと質問が出た。大会名については再検討する。
- ⑥九州支援活動報告 新帯理事から、九州にゆかりのあるオリエンティアとのメーリングを作成した。鹿児島県の鹿屋体育大において講習を行った。
- 5. 日本デフオリエンテーリング協会(JDOA)の入会について
村越顧問から説明。2025年に、日本にてデフリンピックが開催され、オリエンテーリング競技が行われる予定。大会に関わるためには、日本パラリンピック委員会(JPC)に加盟しなければならないが、日本デフオリエンテーリング協会は入会資格がない。そのためJOAに入会したい。また、JOAがJPCに加盟していただくことを検討していただきたい。
※次回理事会までに、JDOAに入会に関しての照会をすることになった。
- 6. NavigationGames2020について、木村理事から、コロナで中止が多かったが、昨年11月から順調に行われていると報告された。
- 7. 事務局から 内閣府の立入検査があったことを報告した。
- 8. 尾上監事から、物事を決めるときに、まず枠組みを作ること。ついで細部を決めることと
いうように、段階を踏んで進めるのが良いのではないかと、この意見が出た。

以上

第26回理事会

公益社団法人日本オリエンテering協会

議事録署名人
理事会議長

代表理事「副会長」 愛場庸雅

印

議事録署名人

監事 尾上秀雄

印
